

例えばあなたがこんな環境にて農業に挑戦するとしましょう。



辺り一面の草原です。半年間は雨が降りません。
しかも、雨が降り出すと、大きな川になってしまいます。



サバンナ気候である東アフリカのマラウイ共和国では、こんな環境をダンボと言います。

あなたなら、どんな工夫を凝らしますか？

彼らは、穴を掘ったり、



山にしたり、



しかも沢山。



きっと、水分の蒸散を抑えるために穴を掘り、流れてしまう土を守るために工夫したのでしょう。しかも、小さな山は、チクーサと呼ばれていて、周りの草を集めて伏せ焼きにしていました。何でも肥料も農薬も必要が無いんだそうです。

雨季に川にならない場所では、主食のトウモロコシだけでなく、ササゲマメも一緒に植えられていました。



川のある場所では、中州で稲の苗作りもしていました。



日本という社会背景の下、鹿児島県のあなたの畑でどんな工夫を凝らしますか？
挑戦をお待ちしています。